

# 高齢者の運動促進用具贈呈

## 西の丸 日向市に100セット

県北を中心に11店舗の遊技場を展開している西の丸(本社・門川町、西谷厚社長)は25日、日向市に高齢者の運動促進用具100セットを贈呈した。同社の西谷社長(54)と西谷彰二朗専務(41)が市役所を訪れ、十屋幸平市長に目録を手渡し

た。

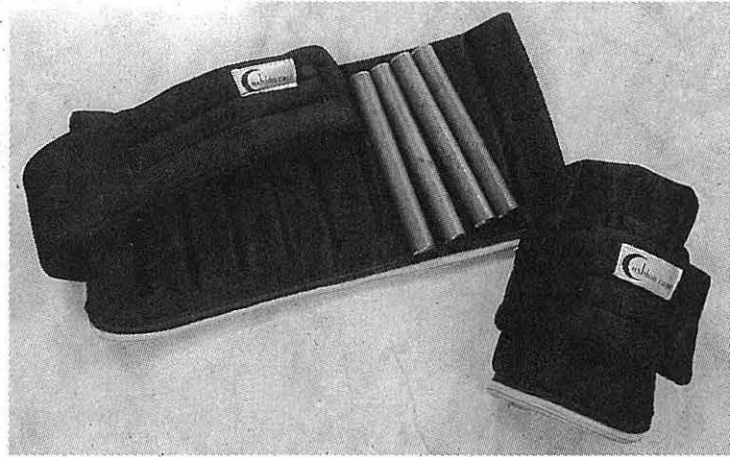
贈ったのは、同市が平成27年度から推進している「いきいき百歳体操」で使用する用具。同体操は、介護予防を目的とした高知市発祥の健康体操。重さ0.2kgまで、10段階に負荷を増やすことができる重りを手首や足首に巻き付け、筋力とバランス能力を高める約

40分間のプログラム。市内では、公民館単位など29地区で約470人が取り組んでいる。同社では、社員の協力でボランティア団体「一善の会」を組織し、環境美化活動を行っているほか、高齢者宅の掃除や修繕の在宅支援を含め、地域への貢献活動を積極的に進めている。

百歳体操の参加者から用具購入の負担が大きいく、継続しにくいケースがあるという話を聞き、「気軽に参加してもらいたい」との願いから、市の担当課に相談して寄贈することにした。贈呈式は市長室であり、十屋市長が「高齢化社会を迎え、本市にとっても介護予防や認知症予

防は大きな課題。高齢者の皆さんが元気に地域で暮らしていただけるよう、有効活用させていただきます」と謝辞を述べると、西谷社長は「用具を活用して、ぜひ健康になっていただきたい。弊社には高齢者のお客さまも多く、今後も地域に役立つ活動をさまざまな所でやっていきたい」と話した。

寄贈された用具は同市が管理し、希望者に貸し出すことになっている。



西の丸が100セット寄贈した運動促進用具



用具を手にする西の丸の西谷社長